

年末年始（12月・1月）に発生した死亡災害

第12次労働災害防止計画（平成25年～平成29年までの5年間）及び第13次労働災害防止計画（平成30年～令和3年9月までの3年9か月間）期間中に、会員事業場において発生した死亡災害を月別に集計すると、1月が最も多く7名が亡くなっています。

また、平成20年以降、年末年始（12月・1月）に発生した死亡災害は、下表のとおりで9名が亡くなっています。

発生日時	発生場所	性別	年齢	雇用形態	職種	事故の型	起因物	概要	
平成21年 12月12日(土) 19:51頃	沿岸	男	77歳	日雇	作業員	墜落・転落	建築物	本船積載のバナナの上屋搬入作業中、ホイストクレーンで2階に揚げられたバナナの2段積みを行うための固定用ラックの取付けを行っていた被災者が、作業場所から移動し、ホイスト物品揚卸口から身を乗り出し、1階のフォークリフト運転者に声をかけていたところ、6.3m下のアスファルト地面に墜落した。	
平成23年 1月5日(水) 18:40頃	コンテナ船内	男	59歳	日雇	作業員	墜落・転落	通路	被災者は、船内で同僚らとアンラッシング作業中、ツイストピンの不具合を確認するため、キャットウォーク（高さ5.3m）上で高さ1.2mの手すりに登ろうとした際、下に墜落した（推定）。	
平成27年	1月14日(水) 14:50頃	沿岸	男	31歳	常用	フォアマン	はさまれ・巻き込まれ	移動式クレーン	トラッククレーンでスクラップの積み荷役を行い、片付け中に、移動式クレーンのアームが旋回し、上部のカウンターバランスと下部のトラックの走行部分との間に挟まれた。
	1月20日(火) 15:15頃	船倉内	男	35歳	常用	運転者	はさまれ・巻き込まれ	ブル・ドーザー	ブル・ドーザーで、石炭を船倉の縁から中央部にかき集める作業中、被災者は、運転席から転落した後、自走を続けるブル・ドーザーを止めようとして、クローラーに巻き込まれた。

発生日時	発生場所	性別	年齢	雇用形態	職種	事故の型	起因物	概要	
平成29年	1月8日(日) 5:00頃	岸壁沖	男	39歳	常用	はしけ船長	おぼれ	はしけ	タグボートに曳航されてはしけで出港したが、曳航ロープを短かくする作業準備のためはしけ内を移動中に、バランスを崩し海中に転落した。
	1月27日(金) 11:10分頃	コンテナヤード	男	47歳	常用	技能職	はさまれ・巻き込まれ	クレーン	トレーラーが所定外のルートでコンテナヤード内に進入したので、コンテナヤード内の誘導員である被災者が、ドライバーに注意しに行ったところ、走行してきたトランスファークレーンのクレーンのタイヤにひかれた。
平成31年	1月6日(日) 11:14頃	本船デッキ上	男	40歳	常用	誘導補助者	はさまれ・巻き込まれ	ガントリークレーン	ガントリークレーン運転士が、スプレッダーのロックの解除を忘れたまま巻き上げたことにより、ミッドロック(船尾側ベースコーン)がかかった状態にもかかわらず、巻き上げの衝撃で外れ、その反動でコンテナが前後に振れて、既に積まれていたコンテナとの間に被災者がはさまれた。
	1月17日(木) 3:50頃	石炭船内	男	22歳	常用	作業員	はさまれ・巻き込まれ	ブル・ドーザー	石炭船の石炭水切り作業において、船壁についた石炭取り除き作業を行っていた被災者が、タラップ下から右舷側に移動したところ、船倉内で石炭を掻き出す作業を行っていたブル・ドーザーに轢かれた。
	1月20日(日) 1:55頃	RO-RO船内	男	20歳	常用	誘導員	はさまれ・巻き込まれ	トレーラー	RO-RO内航本船において、トラクターヘッドにより牽引されたシャーシの誘導時、後進するシャーシと既積みのシャーシの間に胸部をはさまれた。

※ 平成23年以降の死亡災害については、協会ホームページの中の「災害データ検索 version II」から、より詳細な情報を得ることができます。